

## 平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 永井 誠

取組状況	
教育	<p>(授業全般) 練習問題の繰り返しにより、基礎文法力の確立に努めた。 (英語Ⅲ、Ⅳ) 1. リーディング指導において「SV分析」活動を実施し、英語長文における「意味の骨組み」を理解させた。2. リーディング指導において「キーセンテンス把握」活動を実施し、文章としての要点を取るトレーニングを行った。3. TOEIC指導において「SVリスニング」活動を実施し、全文を聴くのではなくピンポイント的に必要情報を取るトレーニングを行った。 (課題研究) 1. 日英語の違いを多角的に分析させ、今後の英語学習への動機付けを向上させた。2. アカデミックな研究の手法・報告のマナーを習得させた。</p>
研究	<p>日本人学習者にとって最も習得困難な文法項目の一つである「仮定法」の習得を促進する方法を考案した。今年度は、一般的に「仮定法過去」「仮定法過去完了」の後に「その他の仮定法」として扱われる「wish構文」「as if構文」を取り上げ、その時制の不一致に関する認知的説明を考案し、その提案内容を本校紀要に発表した。</p>
社会貢献	<p>1. 「英語教育新発想」というテーマを教員シーズ集に掲載し、技術相談に応じる体制を整えた。 2. 「コミュニケーションのための英文法」というテーマを掲げ、出前・受け入れ授業に応じる体制を整えた。</p>